



### 早急に働き手確保の対策を望む！

**答** 働き手の確保につながる支援を続ける



**問** 島根県など全国の過疎地域で多く取り入れられていて、県内では東広島市や安芸太田町が現在進めている「特定地域づくり事業協同組合」の制度に関してはどのように考えているのか。

**市長** 人口流出や高齢化が進む本市において、中小企業・小規模事業者などにおける雇用の確保は、厳しい状況です。働き手を確保することが大変困難な状況ですが、無料職業紹介所の運営支援や、市広報紙への求人情報の掲載、さらには、県内大学生が市内事業所で職場体験を行う、広島県パッケージ型インターンシップ事業の活用などを継続し、働き手の確保につながる支援を続けていきます。

**問** 人口減少対策における市の取り組みとして、企業誘致を積極的に取り組んでいる。一方で、江田島市においては働く世代が少なく、現在でも水産業や地元中小企業など雇用の確保に苦勞しており、今後の見通しが厳しいものとなっている。今後の働き手の確保に関して、市ではどのように考えているのか。

**市長** 本制度の活用には、事業者の皆さま相互の連携と協力が必要となります。そのため、市商工会や農業協同組合、漁業協同組合などの関係団体と連携し、事業者の皆さまのニーズの把握と、既に本制度を活用されておられる自治体や当該組合からの情報収集に努めたいと考えています。

**おわりに**  
労働者を確保するため「特定地域づくり事業協同組合」をはじめ、さまざまな対策方法があります。市民生活・産業を守るためしっかりと情報を掴み、取り組んでいただきたいと思います。



### 農水産業の振興／「しごとの創出」と移住定住との関わり

**答** 農業・漁業の担い手を確保する支援を継続し、しごとの創出を移住定住にしっかりと結び付けていく



**問** しごとの創出における市外企業の誘致はどのような業種が対象なのか。

**産業部長** 原因は販売単価の下落や資材費の高騰等ですが、関係機関と連携しながらできるだけ早い段階で示していきます。

**問** 経営モデルはいつ示すことができるのか。

**市長** 農業においては、新規就農研修をし、関係機関が連携して就農に向けた支援を行っています。漁業においては、広島県新規漁業就業者支援協議会が実施する研修等を終了した方に対し、就業に必要な漁船漁具等の購入費用の補助を行っています。

**問** 高齢化や担い手不足により江田島市の第一次産業である農業・漁業従事者が減少している。新たな担い手に対するこれまでの取り組みと課題は。

**企画部長** 航路事業については、非常に厳しい環境であり、利用促進のための運賃値下げは現実的には難しい状況です。航路維持は、市民生活の生命線であるため、守り続けていかなければなりません。



### 子育て施策に対して今後の取り組みは！

**答** 変化を捉え、事業の見直し、充実をはかり推進していく



**福祉保健部長** 母子手帳アプリ「母子モ」のさらなる活用と、認定こども園の入

**問** 令和5年1月に策定された「江田島市デジタルビジョン」に子育て施策をどう関連付けていくか。

**福祉保健部長** 4月の人事異動により体制が整い次第可能と考えています。ここにご広場のサテライトは、以前からの課題となっており、そのため、令和5年度では、実施していきたいと思っています。

**問** 令和5年度については実施する方向で考えているか。

**市長** 子育て世代包括支援センターの交流スペース「こここひろば」の利用人数の向上については、昨年度の5401人から7114人へと増加しました。しかし、施設から遠い地域の方への「出張にこここひろば」である出前講座は実施できておらず、引き続き課題としていきます。

**問** 令和4年第2回定例会で挙げられた課題にどのように取り組んだか。

園申し込み等を江田島市公式LINEから実施できないか検討しています。

アンケートが届いた際にはご協力ください！  
ほのほの島ぐらし  
**hodohodo**  
江田島市移住・定住ポータルサイト  
子育て環境のアピール充実を！

**福祉保健部長** 市独自の施策や、特に強調したいものを掲載していくのは良いアピールになると思いますので、前向きに検討していきます。

**問** 移住定住ポータルサイト「hodohodo」子育て環境に特化したページを作っているか。

**福祉保健部長** 市が抱える他の課題との整合をはかりながら選んでもらえるような施策を検討していきます。

**問** 移住先として選ぶ際の立地的利便性の悪さを払拭するような施策を拡充してはどうか。



### 持続可能な江田島市の漁業を目指す施策を！

**答** 漁業協同組合や関係機関と連携し方向性を定める



**市長** これまで種苗放流や増殖場の造成、魚礁機能を向上させるため漁網の撤去を行い、キジハタ等の放流魚の魚礁定着を確認しています。「かせげる水産業」の実現については、市漁業振興協議会の意見を聞きながら事業を推進していきます。

**問** 「つくり育てる漁業」「かせげる水産業」の実現度は。

**市長** 現行ビジョンでは4つの柱を目標に掲げ、県や市、漁業協同組合、漁業者等が協働して各種の施策を実施してきました。市としては一定の成果はあげていると考えています。

**問** ビジョンの成果およびその検証は。

**市長** 本市の水産業を取り巻く状況は、漁獲量の減少、魚価の低迷、漁業者の高齢化や担い手不足など多くの課題があり、依然として厳しい状況にあります。

**問** 令和6年度で第2期江田島市水産振興ビジョンの計画期間が満了するが、本市の水産業の現状把握は。

**市長** 漁業者へアンケート調査等を実施することにより、幅広く現場の声を聞き、情報把握に努め、令和6年度内の策定を計画しています。

**問** 第3次江田島市総合計画へのビジョンの反映と整合性は。

**市長** 現行の第2期ビジョンの成果や検証結果を踏まえ次期ビジョンを策定し、第3次総合計画に反映します。

**問** 持続可能な江田島市の漁業を目指すため、次期ビジョンの考えは。

**市長** これまでの取り組みとあわせ、アンケート調査等で漁業者の声を聞き、漁業協同組合や関係機関と連携し次期ビジョンの方向性を定めます。

**問** 次期ビジョン策定の考え、スケジュールは。